

(様式2)

# 農業の新しい技術

No. 697(平成28年5月)

分類コード01-04

熊本県農林水産部

## ナス新品種「熊本 VE02」の特性

農業研究センター 農産園芸研究所野菜研究室

担当者：並崎 宏美

### 研究のねらい

平成13年に、在来の「熊本長ナス」の軟らかな肉質と良食味を維持しながら果実品質が均一な品種である「ヒゴムラサキ」を育成した（農業の新しい技術No.471）。

しかし、「ヒゴムラサキ」は、弱光や高温等によって果皮色が薄くなる傾向にあり、舌出し果の発生が多いことが課題となっている。

そこで、「ヒゴムラサキ」の良食味を維持し、果皮の着色性に優れ、舌出し果の発生が少ない品種を育成する。

### 研究の成果

「熊本VE02」は、果皮の着色性が優れ、ボリューム感のある育成系統「09-14-1-4」（種子親）と「ヒゴムラサキ」の種子親であるNo.9（花粉親）を交配して得られた品種であり、以下の特性を有する。

- 草姿はやや開張性で草勢は強い。節間長は「ヒゴムラサキ」よりやや長く、茎径、着花数は同程度である（表1）。
- 果形は長ナスタイプ、1果重は350g程度で「ヒゴムラサキ」並である。果皮色は「ヒゴムラサキ」より着色性に優れる。果肉の軟らかさ及び食味は「ヒゴムラサキ」並で優れる（表2、図1）。
- 可販果収量は「ヒゴムラサキ」より多い傾向であり、秀品率が高い。舌出し果の発生は「ヒゴムラサキ」より少ない。平坦地域（農産園芸研究所）よりも準高冷地域（高原農業研究所）で栽培すると可販果数が増え、可販果収量及び可販果率、秀品率が向上する（表3）。

### 普及上の留意点

- 「ヒゴムラサキ」の後継品種として活用が見込まれる。平坦地では夏期の高温の影響で果実品質が低下しやすいため、準高冷地の夏秋栽培に適する。
- 「ヒゴムラサキ」同様、果皮の擦れや押し傷みが発生することがあるので、果実の取り扱いに注意が必要である。
- 栽培管理は「ヒゴムラサキ」に準じる。

[具体的データ]

表1 生育特性

	草姿	葉長 (cm)	節間長 (cm)	茎径 (mm)	第1枝 着花数
熊本VE02	やや開張	25.2	15.7	13.6	11.8
ヒゴムラサキ	やや開張	24.4	14.9	13.9	11.5

注1) 平成27年4月27日定植，葉長は5月19日測定，節間長，茎径，着花数は11月5日調査，節間長は主枝の第1～4果の間を測定した平均値，茎径は第1～9果下の茎径を5カ所測定した平均値

注2) 高原農業研究所，4株3反復，3本仕立て，接ぎ木栽培（台木トナシム）

表2 果実特性

品種名	重量 (g)	長さ (cm)	果径(mm)		長さ/ 最大径	果皮色	硬度(N)		食味			
			最大	最小			果皮	果肉	硬さ		甘味	渋味
									果皮	果肉		
熊本VE02	351.8	25.4	74.3	53.6	3.4	4.5	10.3	4.2	2.9	3.1	3.5	2.5
ヒゴムラサキ	360.2	25.4	75.3	52.0	3.4	3.8	9.5	3.8	3.0	3.0	3.0	3.0

注1) 高原農業研究所にて栽培した果実を7～10月の間に9回調査した平均値 (n=40)

注2) 果皮色は，濃紫色を5.0，紫色を4.0，淡紫色を3.0とし，6～8月に3回調査した平均値 (n=15)

注3) 硬度は，CHREEP METER (YAMADEN RE2-33005C) を用い，7～9月上旬に3回調査した平均値 (n=9)

注4) 食味は，素焼きにおける官能評価であり，ヒゴムラサキとの比較調査 (パネル員11名)

硬さ : 1 軟らかい，2 やや軟らかい，3 同程度，4 やや硬い，5 硬い

甘味及び渋味 : 1 ない，2 あまりない，3 同程度，4 ややある，5 ある

表3 収量

試験圃場・標高	品種名	可販果収量		可販率 (%)	秀品率 (%)	舌出し果 発生率(%)
		果数	重量 (kg)			
高原農業研究所・543m	熊本VE02	80.0	24.3 (114)	88.0	64.5	6.3
	ヒゴムラサキ	68.2	21.3 (100)	79.8	44.9	9.7
農産園芸研究所・80m	熊本VE02	55.3	15.6 (105)	80.1	28.2	5.8
	ヒゴムラサキ	50.7	14.9 (100)	75.2	18.3	11.5

注1) 高原農業研究所，農産園芸研究所共に，平成27年4月27日定植，10月30日まで収穫

注2) 舌出し果発生率は，総果数に対する舌出し果数の割合を示す

注3) 農産園芸研究所 6株2反復 (株調査)，3本仕立て，接ぎ木栽培 (台木トナシム)

表4 現地試験の収量 (参考)

試験圃場・標高	品種名	可販果収量	
		果数	重量 (kg)
高森町・515m	熊本VE02	74.1	24.7 (104)
	ヒゴムラサキ	67.9	23.8 (100)

注1) 平成27年4月27日定植，10月30日まで収穫

注2) 現地試験 10株反復なし，3本仕立て，接ぎ木栽培 (台木トナシム)

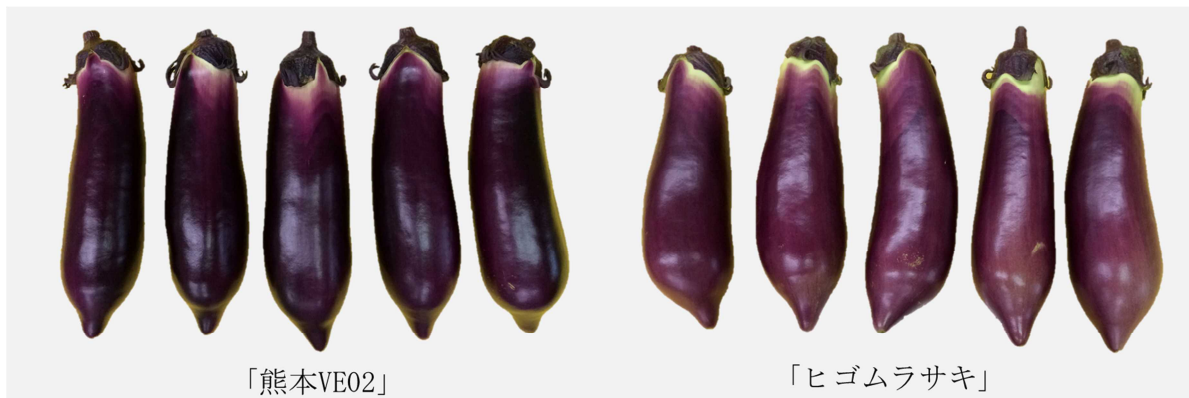


図1 「熊本 VE02」の果実外観